

報道関係者各位

きものを着て訪れた人が、気仙沼市内の様々なお店で 優待を受けられる「きもの沼さんぽ」サービスを、 11月15日（きもの日）より始めます。

有限会社たかはし（代表：高橋和江、気仙沼市所沢321-1）の声掛けで、きものを着た方が優待を受けられるサービスが形になりました。サービス期間は令和3年11月15日（きもの日）から令和4年4月30日まで。

「きもので楽しめる港町」という新しい気仙沼を作り上げていくため、さまざまなお店を巻き込んでサービス開始に至りました。市内の協賛店からは、嬉しいご優待のお申し出を受けています。より多くの方々にご利用いただけるよう、ご取材・ご掲載のほどよろしくお願いたします。

「きもの沼さんぽ」の内容

期間 令和3年11月15日（月）～ 令和4年4月30日（土）※実施は各お店の営業日に準じます

対象店 気仙沼市内の各小売店、飲食店13店舗（次ページご参照）

特典 次ページご参照

観光でいらっしゃる方々に、きもので歩く新しい気仙沼体験を発見していただき、また気仙沼市民の方々にも、普段からもっときものを楽しんでもらう。そうやって、共に「きもので楽しめる港町、気仙沼」のイメージを作り上げて行けたらと願っております。



漁師まち気仙沼には、縁起をかついだ儀式や願掛けなどが今なお根付いており、習わしや付き合いを大事にする人々が暮らしています。そんなまちだからこそ皆は「ハレとケ」を大切にしますし、そこには相応しい衣装が存在してきました。

また、かつての気仙沼は養蚕業が盛んで地機（じばた）もたくさんあったとか。それは、きもの文化が根付いていた証拠です。唐桑には野生の蚕が生息し、品種によって養蚕の蚕よりも糸の強い「野蚕糸」は重用されていたとも聞いています。

きものを「やさしく・たのしく・おもしろく」。きものを着ることで味わえる非日常を、「ハレ」の日のみならず普段の生活の中で取り入れてもらいたい。きものを着ているだけで多くの方に褒められて、きっと気持ち良い一日を過ごせると思います。

（高橋和江）

【ご取材・お問合せ先】

wanomise たかはしきもの工房 高橋和江

TEL : 0226-23-1111 FAX : 0226-23-3206
〒988-0057 宮城県気仙沼市所沢321-1



報道関係者各位

**「和の楽しみ方で気仙沼の賑わいを生み出したい」という思いに、
多くのお店の賛同を頂戴しました。
気仙沼にはきものが映えるスポットもたくさんあります。
パンフレットやオンラインでのご紹介を準備しております。**

きもの沼さんぽパンフレットをご用意

◆きもの来店利用サービス提供店◆

和食処 海舟：三陸食堂さんまと荃わかめの佃煮を進呈

鼎・斉吉：食後のデザート1品をサービス

和食処 鮎：三陸食堂さんまと荃わかめの佃煮を進呈

アンカーコーヒー 内湾店：税抜1,000円以上ご利用時、
オリジナルカップオンコーヒー1個を進呈

割烹 世界：ソフトドリンク1杯サービス

CORVO：ランチならデザート1品をサービス、
ディナーならグラスワイン1杯をサービス

気仙沼 あさひ鮎本店：旬の握り1貫をサービス

気仙沼 ゆう寿司：ソフトドリンク1杯をサービス

季節料理お食事処 浜の家：季節のアイスクリーム1皿をサービス※コース料理除く

気仙沼 新富寿し：オリジナルデザートティー1杯をサービス

アンカーコーヒー マザーポート店：税抜1,000円以上ご利用時、
オリジナルカップオンコーヒー1個を進呈

レストラン エトワアル：ご飲食税込1,500円以上で10%割引※コース料理除く

wanomise たかはしきもの工房：（来店時）おつまみこんぶ1袋を進呈

※きものでの食べやすさも考慮してご協賛いただきました



◆きもの映えスポット◆

神明崎 武山米店 男山本店 角星本舗 千田家住宅主屋 三事堂ささき店舗

気仙沼出港岸壁 など

【ご取材・お問合せ先】

wanomise たかはしきもの工房 高橋和江

TEL：0226-23-1111 FAX：0226-23-3206
〒988-0057 宮城県気仙沼市所沢321-1

